

# 2009年度第2四半期 決算説明会

---

2009年11月6日

伊藤忠商事株式会社

代表取締役社長 小林 栄三

---

## 1. 2009年度 決算概況(1-2Q累計)

---

## 2. 2009年度 通期業績見通し

---

## 3. セグメント情報

---

## 第2四半期累計レビュー

- ✓ 連結純利益: 553億円 (前年同期比838億円の減益)
- ✓ 但し第2四半期は第1四半期比145億円の好転。
- ✓ 株主資本は1兆円を超え、ネットDERは1.8倍に。

## 環境認識

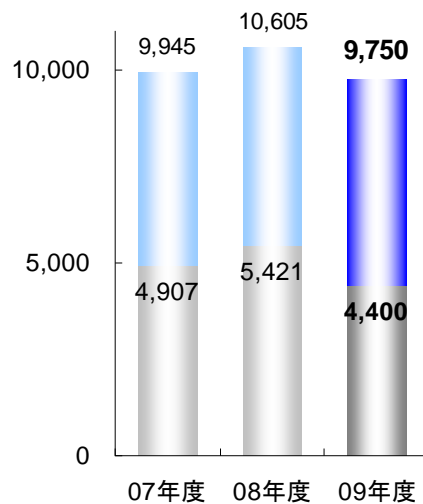
- ✓ 世界経済は底打ちから緩やかな回復へ。
- ✓ 日本経済は景気の下げ止り。徐々に回復へ。
- ✓ 中国経済が順調な成長率を維持する一方、米国経済の本格回復は来年度以降。
- ✓ 資源価格は昨年度後半に底打ち、回復基調。
- ✓ 但し、二番底の懸念も払拭されず。

# 経営成績

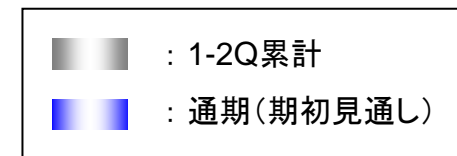
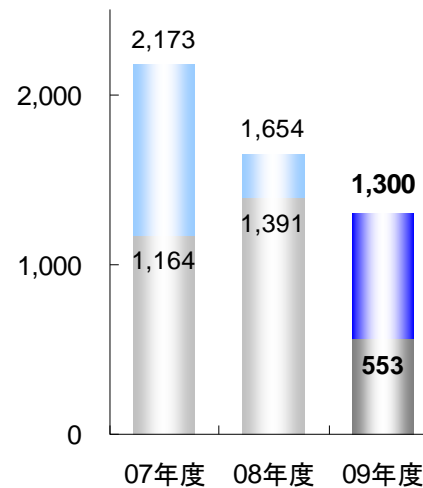


	2008年度	2009年度	増減		2009年度	
	1-2Q累計 (a)	1-2Q累計 (b)	(b)-(a)	%	期初通期見通し (c)	進捗率 (b)/(c)
売上総利益	5,421	4,400	△1,021	△19%	9,750	45%
営業利益	1,643	537	△1,106	△67%	1,850	29%
持分法投資損益	349	208	△141	△41%	560	37%
当社株主帰属当期純利益	1,391	553	△838	△60%	1,300	43%
実態利益	2,149	760	△1,389	△65%	2,360	32%

売上総利益



当社株主帰属純利益



(単位:億円)

# 財政状態及びキャッシュ・フロー



## 財政状態

	2009年3月末	2009年9月末	増減
連結総資産	51,921	54,617	+2,696
ネット有利子負債	17,568	18,367	+800
株主資本(当社株主帰属分)	8,494	10,072	+1,578
ネットDER	2.1倍	1.8倍	0.2 改善

## キャッシュ・フロー

	2008年度 (1-2Q累計)	2009年度 (1-2Q累計)	増減
営業活動によるCF	623	1,027	+404
投資活動によるCF	▲1,148	▲1,346	△199
財務活動によるCF	140	▲560	△701

(単位:億円)

---

1. 2009年度 決算概況(1-2Q累計)

---

2. 2009年度 通期業績見通し

---

3. セグメント情報

---

# 2009年度通期見通し



	2008年度 (実績)	2009年度 (期初通期見通し)	2009年度 (通期見通し)
売上総利益	10,605	9,750	9,500
営業利益	2,757	1,850	1,500
持分法投資損益	413	560	470
当社株主帰属当期純利益	1,654	1,300	1,300

連結総資産	51,921	55,000	55,000
ネット有利子負債	17,568	19,000	19,000
株主資本(当社株主帰属分)	8,494	9,500	10,000
ネットDER	2.1倍	2.0倍未満	1.9倍

(単位:億円)

# セグメント別純利益 通期見通し



	08年度 通期	09年度 1-2Q累計	09年度 期初通期見通し	09年度 通期見通し	期初通期 見通し比増減
繊維	229	71	210	210	-
機械	▲155	40	90	40	△50
情報通信・航空電子	80	12	110	100	△10
金属・エネルギー	1,147	261	600	600	-
金属	838	167	425	350	△75
エネルギー	309	94	175	250	+75
生活資材・化学品	190	81	200	170	△30
生活資材	120	5	90	40	△50
化学品	70	76	110	130	+20
食料	202	185	250	260	+10
金融・不動産・保険・物流	▲12	23	80	60	△20
金融・保険・物流	▲44	34	60	40	△20
建設・不動産	32	▲10	20	20	-
その他及び修正消去	▲28	▲121	▲240	▲140	+100
合計	1,654	553	1,300	1,300	-

(単位:億円)



# 2009年度前提条件



## 市況価格の前提

	2008年度 実績	2009年度 期初通期見通し	2009年度 通期見通し	2009年度 1-2Q実績	(参考)下期の市況変動による 連結純利益に与えるインパクト
為替(円 / US\$)	101	90	93	96	約△5億円(1円の円高)
金利(%) TIBOR(¥)	0.8%	0.6%	0.6%	0.6%	約△18億円(1%の金利上昇)
原油価格(\$ / BBL)*	98	53**	60	53	約1億円(1\$/バレルの変動)
鉄鉱石粉鉱(\$ / TON)* 豪州産	90(粉鉱) 129(塊鉱)	N.A.	N.A.	N.A.	} 限定的***
強粘結炭(\$ / TON)*	300	128	128	128	
一般炭(\$ / TON)*	125	70	70	70	

\* 原油はブレント原油。鉄鉱石、強粘結炭、一般炭は対日ベンチマーク価格

\*\* 2009年度(期初通期見通し)の原油価格前提は、1-3月 \$46/bbl、4月以降が \$55/bbl

\*\*\* 鉄鉱石、及び石炭の販売は大半が年間契約であり、年度内の市況変動が連結純利益に与えるインパクトは基本的に限定的。  
 参考値として、2009年度業績見通しにおける前提条件をベースとし、販売価格のみがTONあたり\$1変動した場合の連結純利益に与えるインパクトは以下の通り試算。  
 鉄鉱石 ±3億円、石炭 ±2億円  
 (上記試算結果は、販売数量、為替、生産コスト等により変動致します。)

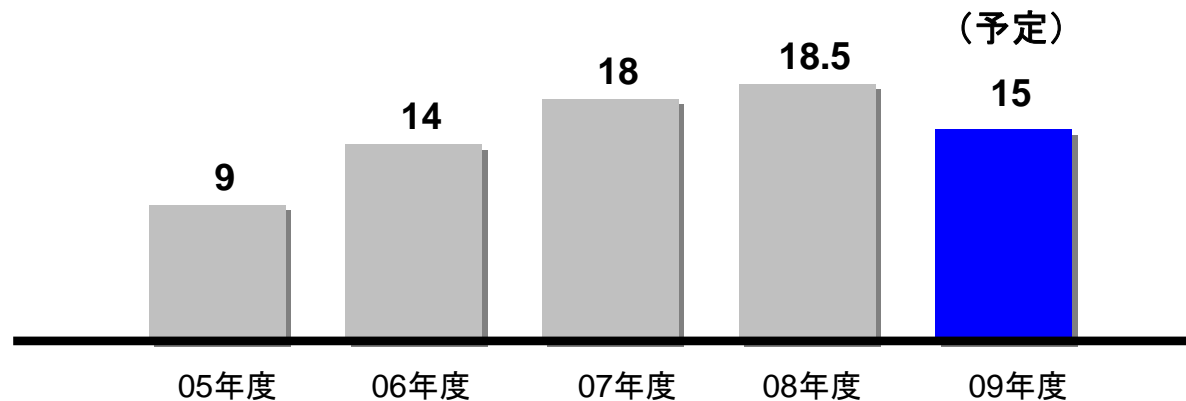
## 配当の基本方針

Frontier<sup>®</sup> 2010 期間においては、非常に不透明な経営環境下にあります。下記基本方針を堅持してまいります。

当社は、成長戦略に向けた内部留保による株主資本の充実、会社競争力の維持・強化を図るとともに、株主配当金につきましては、業績も勘案のうえ、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

## 2009年度の利益配分について

当年度の中間配当として1株につき7.5円を実施致します。尚、期末における1株当たり配当金につきましては7.5円(中間配当金と合わせ、年間15円)を予定しております。



1. 2009年度 決算概況(1-2Q累計)

2. 2009年度 通期業績見通し

3. セグメント情報

# セグメント別純利益



	08年度 1-2Q累計	09年度 1-2Q累計	増減	09年度 期初通期見通し	進捗率	09年度 通期見通し
繊維	132	71	△61	210	34%	210
機械	37	40	+4	90	45%	40
情報通信・航空電子	19	12	△7	110	11%	100
金属・エネルギー	864	261	△603	600	43%	600
金属	630	167	△463	425	39%	350
エネルギー	234	94	△141	175	54%	250
生活資材・化学品	132	81	△51	200	41%	170
生活資材	59	5	△54	90	6%	40
化学品	73	76	+3	110	69%	130
食料	124	185	+61	250	74%	260
金融・不動産・保険・物流	66	23	△43	80	29%	60
金融・保険・物流	38	34	△5	60	56%	40
建設・不動産	28	▲10	△38	20	-	20
その他及び修正消去	17	▲121	△138	▲240	50%	▲140
合計	1,391	553	△838	1,300	43%	1,300

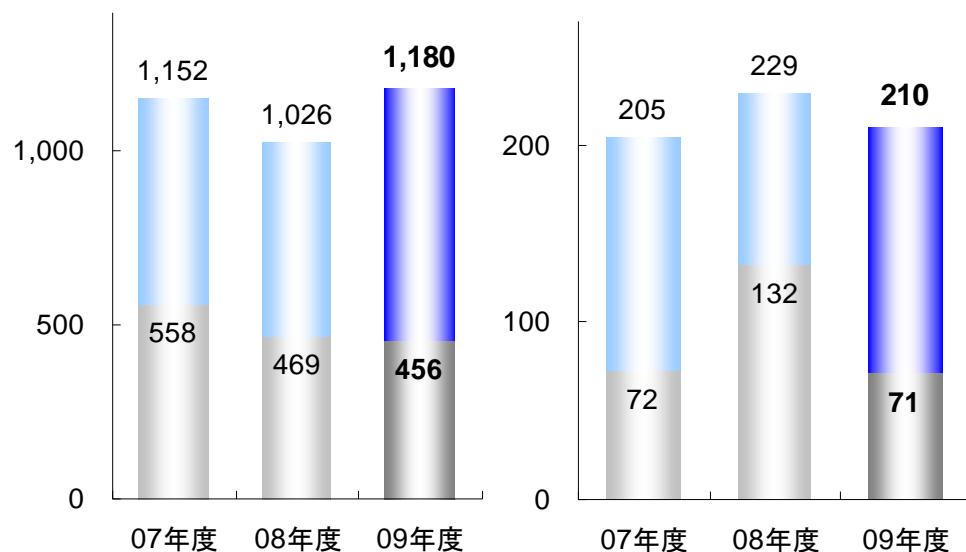
(単位:億円)

# セグメント別情報：繊維



売上総利益

当社株主帰属純利益



: 通期(実績/見通し)  
 : 1-2Q累計

## 09年度1-2Q累計決算概略

衣料品市況の低迷は継続。新規に連結した複数の事業会社による持分法損益の増加はあったものの、営業利益の減少、前年同期の投資有価証券売却益の反動により連結純利益は前年同期比61億円の減益。

## 09年度通期見通し

衣料品市況は厳しい状況が続くことが予想されるが、既存・新規事業会社の収益貢献もあり、連結純利益の期初通期見通し210億円は達成の見通し。

## 主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
ジョイックスコーポレーション	▲1	▲5	4	2
三景	*	1	1	20
Prominent Apparel Ltd.	3	2	6	6
伊藤忠繊維貿易(中国)有限公司	3	3	10	9

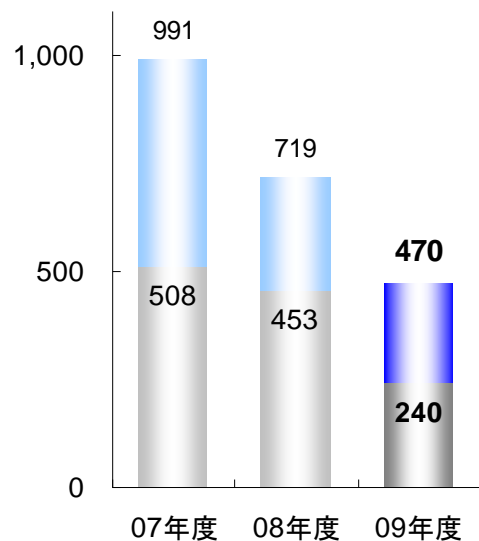
\* 連結対象外

(単位:億円)

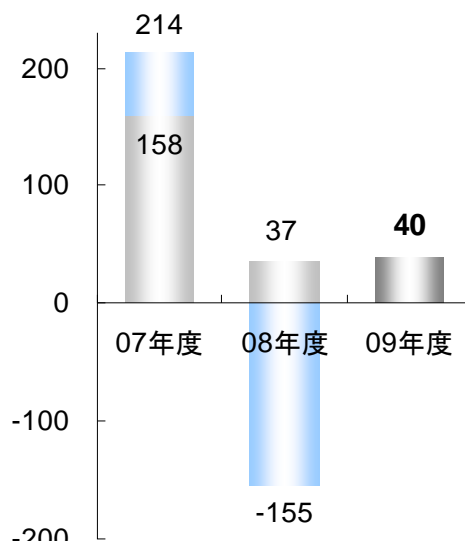
# セグメント別情報：機械



売上総利益



当社株主帰属純利益



■ : 通期(実績/見通し)  
■ : 1-2Q累計

## 09年度1-2Q累計決算概略

自動車・建設機械関連は一部で回復の兆しが見られるものの先進国・新興国共に低調。売上総利益の減益があったものの、前年同期の貸倒引当金計上の反動、持分法投資損益・投資有価証券売却益の増加もあり、連結純利益は前年同期比4億円の増益。

## 09年度通期見通し

自動車・建設機械関連は本格的な回復基調には至っておらず、連結純利益は期初通期見通しを50億円下方修正し、40億円の見通し。

## 主要事業会社取込損益

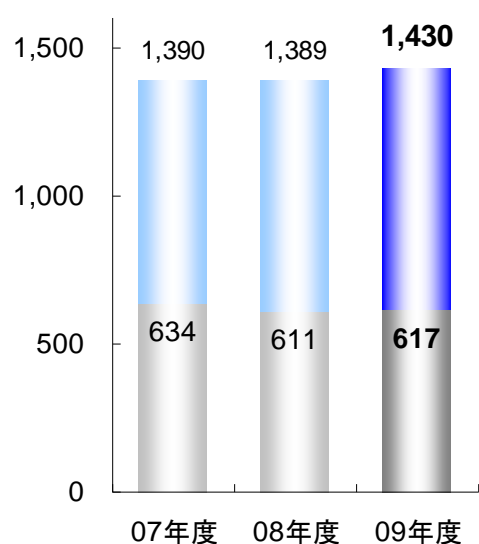
	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
ITOCHU Automobile America Inc.	▲3	▲3	▲16	▲3
MCL Group Limited	▲2	▲7	▲25	▲6
伊藤忠建機	4	1	4	5

(単位: 億円)

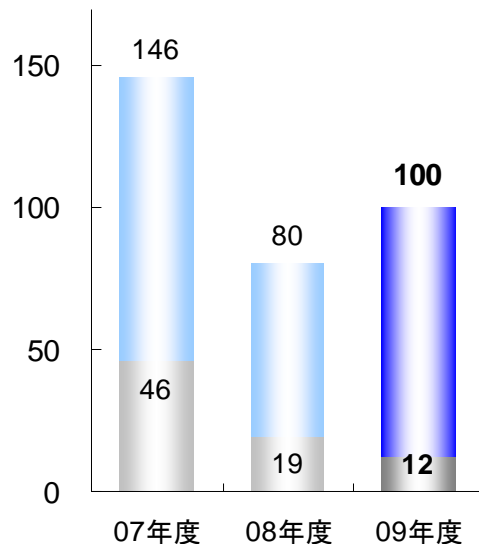
# セグメント別情報：情報通信・航空電子



売上総利益



当社株主帰属純利益



: 通期(実績/見通し)  
 : 1-2Q累計

## 09年度1-2Q累計決算概略

コスト削減等による営業利益の増加はあったものの、前年同期の投資有価証券売却益の反動もあり、連結純利益は前年同期比7億円の減益。

## 09年度通期見通し

営業利益は横ばいを見込むが、市況軟調に伴い投資有価証券損益の下ぶれを見込み、連結純利益は期初通期見通しを10億円下方修正し、100億円の見通し。

## 主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
伊藤忠テクノソリューションズ	9	*	69	63**
アイ・ティー・シーネットワーク	6	9	16	15**
エキサイト	▲11	*	▲14	1**
スペースシャワーネットワーク	1	0	1	0**

\* 決算公表前のため、開示を差し控えております。

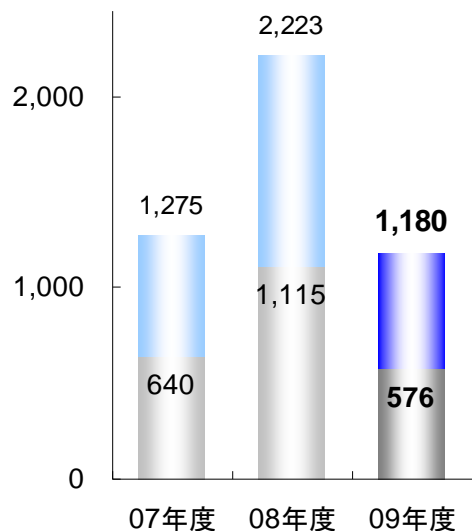
\*\* 各社公表年間見通し×取込比率

(単位:億円)

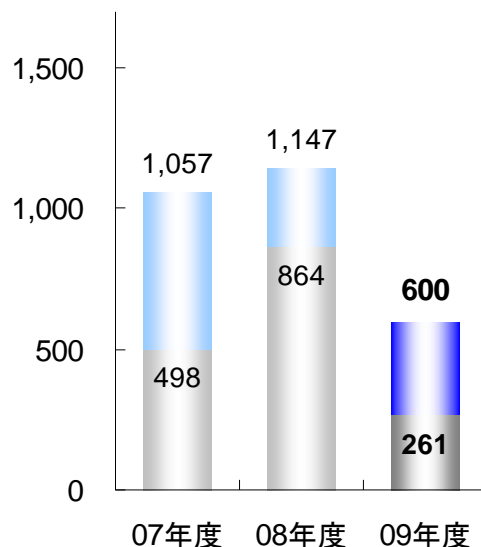
# セグメント別情報：金属・エネルギー



売上総利益



当社株主帰属純利益



■ : 通期(実績/見通し)  
■ : 1-2Q累計

(内訳)	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
金属	630	167	838	350
エネルギー	234	94	309	250

## 09年度1-2Q累計決算概略

金属資源、エネルギー価格の低下により営業利益は減益。LNG関連の受取配当金の減少、鉄鋼製品事業会社の減益等に伴う持分法投資損益の減少に伴い連結純利益は前年同期比603億円の減益。

## 09年度通期見通し

金属での豪ドル高に伴う収益圧迫はあるものの、石炭の生産数量の上振れ、原油価格の上昇もあり、連結純利益は期初通期見通しの600億円を達成の見通し。

## 主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
ITOCHU Minerals & Energy of Australia Pty Ltd	515	145	712	266
(鉄鉱石)	(286)	(77)	(396)	N.A.
(石炭)	(248)	(58)	(351)	N.A.
伊藤忠丸紅鉄鋼	101	▲9	148	N.A.
ITOCHU Oil Exploration (Azerbaijan) Inc.	117	14	261	41
LNG配当(税前)	107	36	178	N.A.

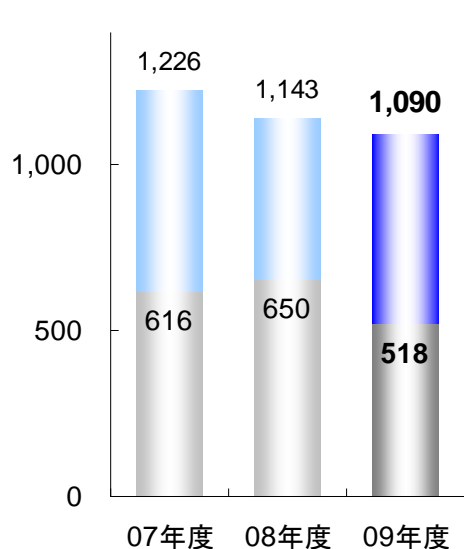
(単位:億円)



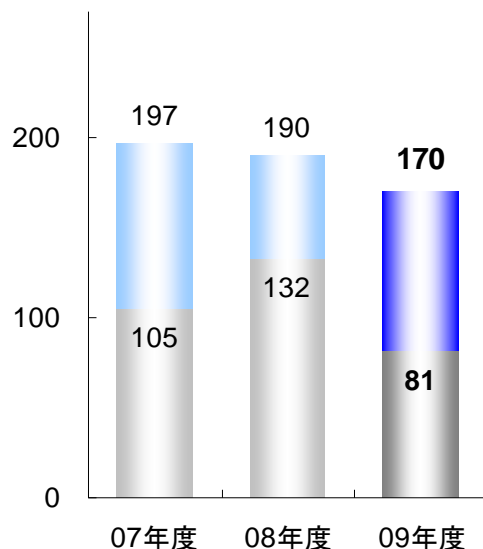
# セグメント別情報：生活資材・化学品



売上総利益



当社株主帰属純利益



■ : 通期(実績/見通し)  
■ : 1-2Q累計

## 09年度1-2Q累計決算概略

生活資材関連では日米住宅市況の低迷に加え、パルプ市況の低迷・現地通貨(リアル)高に伴いパルプ事業が不調、化学品関連では昨年度後半以降の市況低迷の一方でシーアイ化成の連結子会社化による利益を計上。セグメント合計では、連結純利益は前年同期比51億円の減益。

## 09年度通期見通し

化学品市況は回復基調となっており、パルプ市況も回復しつつあるが、生活資材関連での1-2Qの低調により、連結純利益は期初通期見通しを30億円下方修正し、170億円の見通し。

## 主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
PrimeSource Building Products, Inc.	39	15	83	N.A.
伊藤忠建材	3	1	▲10	0
日伯紙パルプ資源開発	9	▲14	49	N.A.
伊藤忠ケミカルフロンティア	9	9	11	15
伊藤忠プラスチック	12	8	16	21
シーアイ化成	2	18	▲11	21

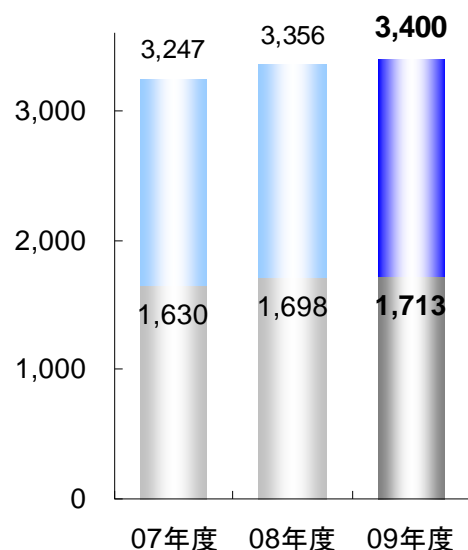
(内訳)	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
生活資材	59	5	120	40
化学品	73	76	70	130

(単位:億円)

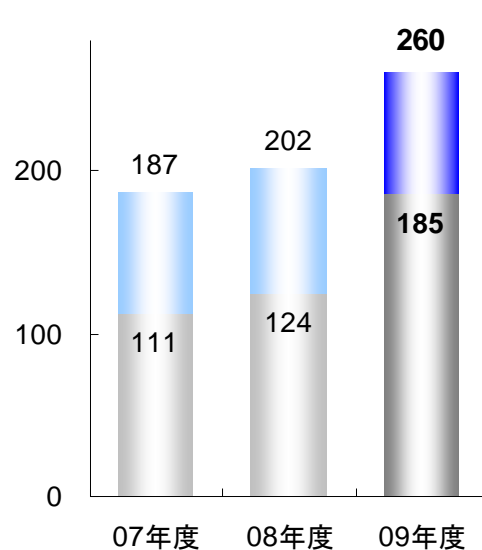
# セグメント別情報：食料



売上総利益



当社株主帰属純利益



■ : 通期(実績/見通し)  
■ : 1-2Q累計

## 09年度1-2Q累計決算概略

中国飲料事業の売却益の計上、食糧分野並びに食品流通分野を中心とする事業会社の収益が堅調に推移し、連結純利益は前年同期比61億円の増益。

## 09年度通期見通し

事業会社収益が引き続き堅調に推移、加えて新規連結の頂新が好調であることより連結純利益は期初通期見通しを10億円上方修正し、260億円の見通し。

## 主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
ファミリーマート	35	31	53	47***
吉野家ホールディングス	0	▲1	▲15	▲3***
エイ・アイ・ビバレッジ・ホールディング	10	**	17	**
不二製油	7	*	20	23***
頂新ホールディング	**	11	**	N.A.

\* 決算公表前のため、開示を差し控えております。

\*\* 連結対象外

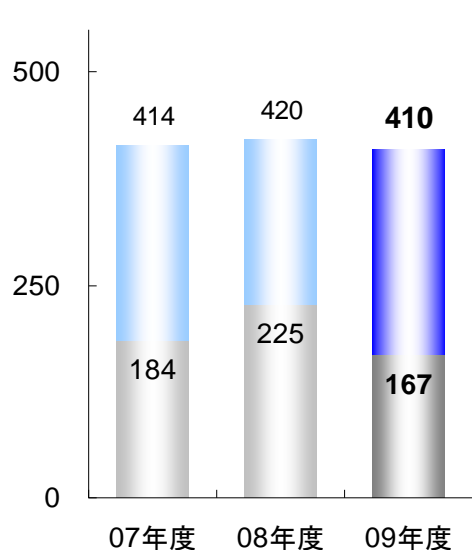
\*\*\* 各社公表年間見通し×取込比率

(単位：億円)

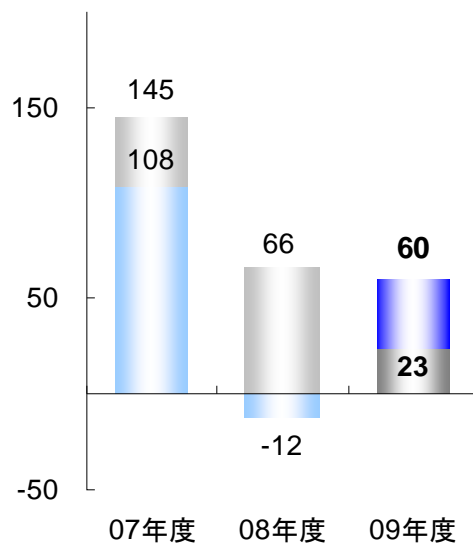
# セグメント別情報：金融・不動産・保険・物流



売上総利益



当社株主帰属純利益



■ : 通期(実績/見通し)  
■ : 1-2Q累計

(内訳)	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
金融・保険・物流	38	34	▲44	40
建設・不動産	28	▲10	32	20

## 09年度1-2Q累計決算概略

アイ・ロジスティクスの連結子会社化による利益計上があったものの、金融関連事業会社の取込損益減少、前年同期の大型マンション販売利益の反動により、連結純利益は前年同期比43億円の減益。

## 09年度通期見通し

金融関連事業会社の取込損益の減少等により、連結純利益は期初通期見通しを20億円下方修正し、60億円の見通し。

## 主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		通期	
	08年度	09年度	08年度	09年度
オリエントコーポレーション	27	7	▲27	*
C.I. Finance (CAYMAN) LTD.	▲7	**	▲30	**
伊藤忠ファイナンス	4	▲1	6	▲9
FXプライム	6	0	9	***
伊藤忠都市開発	10	▲11	3	10
アイ・ロジスティクス	1	18	1	21

\* (個社公表見通し×取込比率)にて計算される数値と、実際の取込損益との間に乖離が生じる場合があるため、開示を差し控えております。

\*\* 連結対象外

\*\*\* 個社で業績予想を開示していないため、開示を差し控えております。

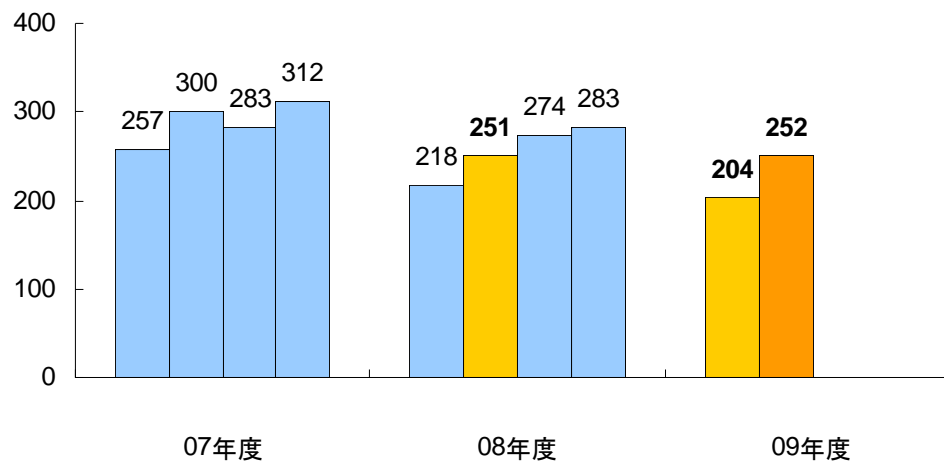
(単位：億円)

# 【補足資料】

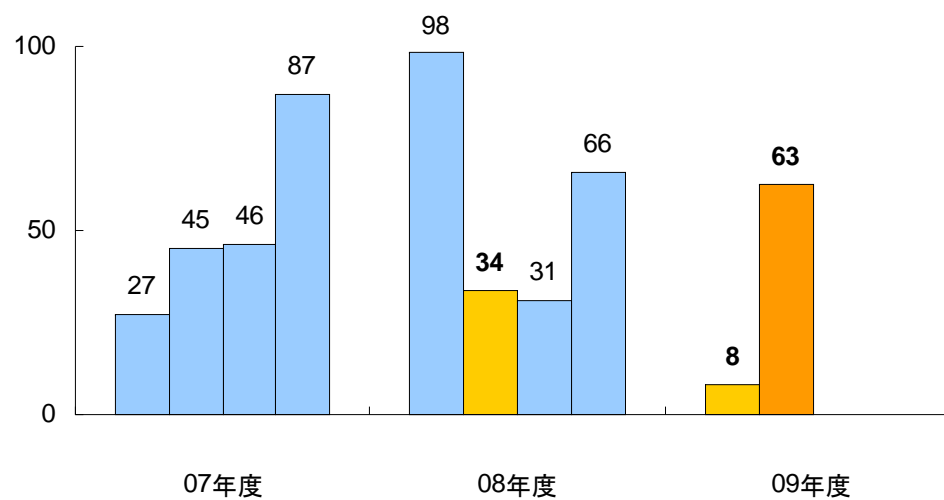
# セグメント情報：繊維



## 売上総利益



## 当社株主帰属純利益

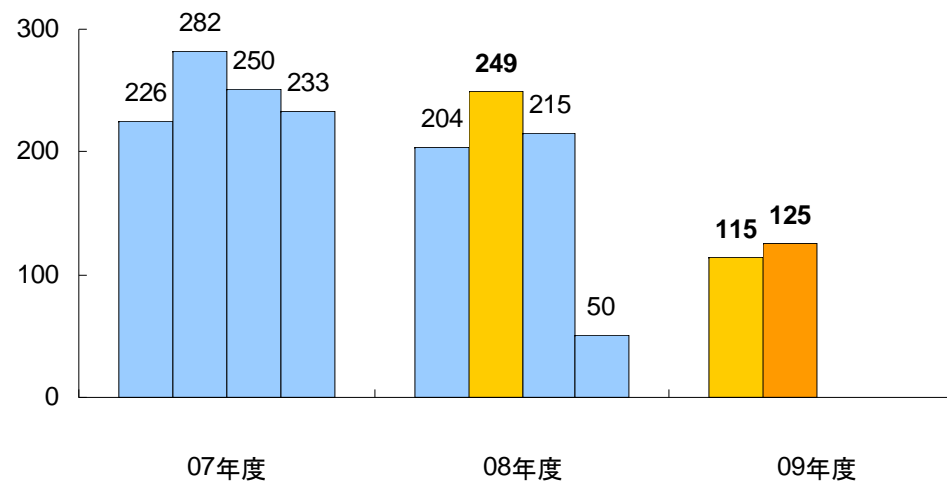


(単位:億円)

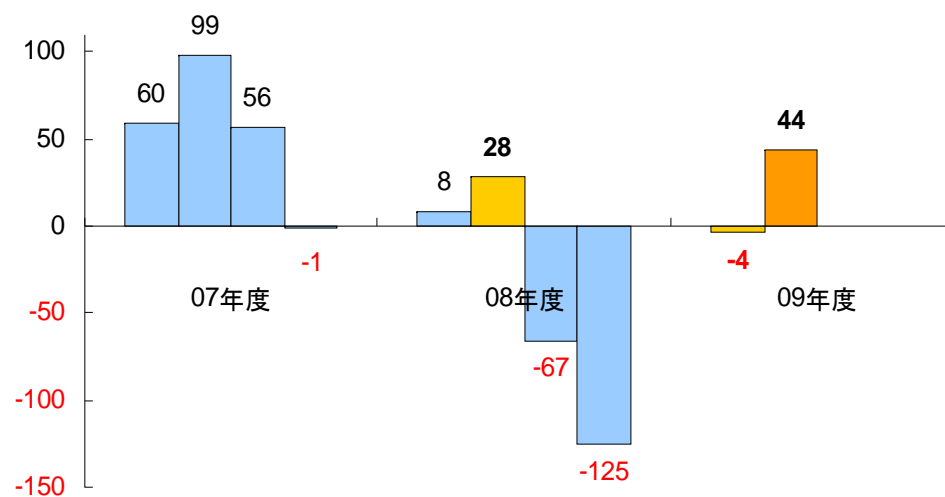
# セグメント情報：機械



## 売上総利益



## 当社株主帰属純利益

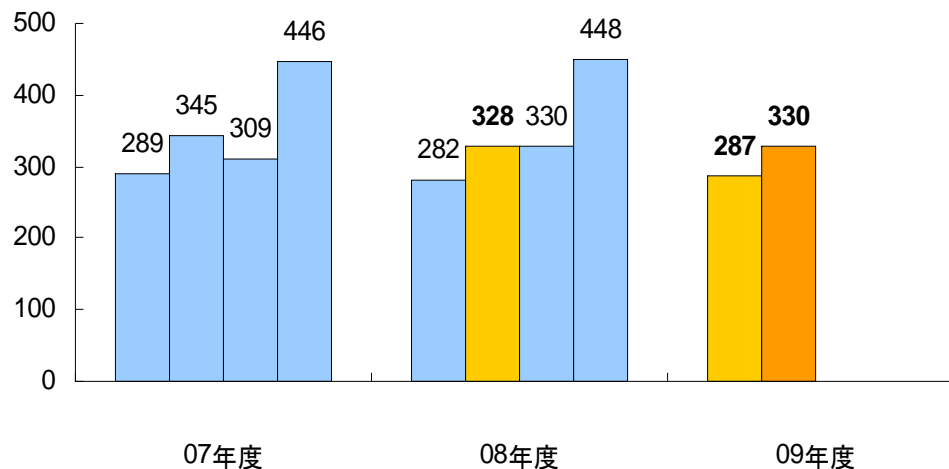


(単位：億円)

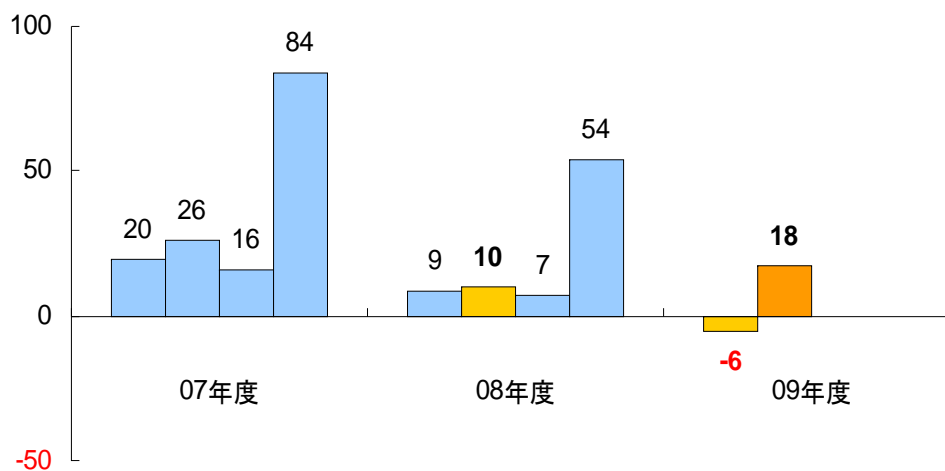
# セグメント情報：情報通信・航空電子



## 売上総利益



## 当社株主帰属純利益

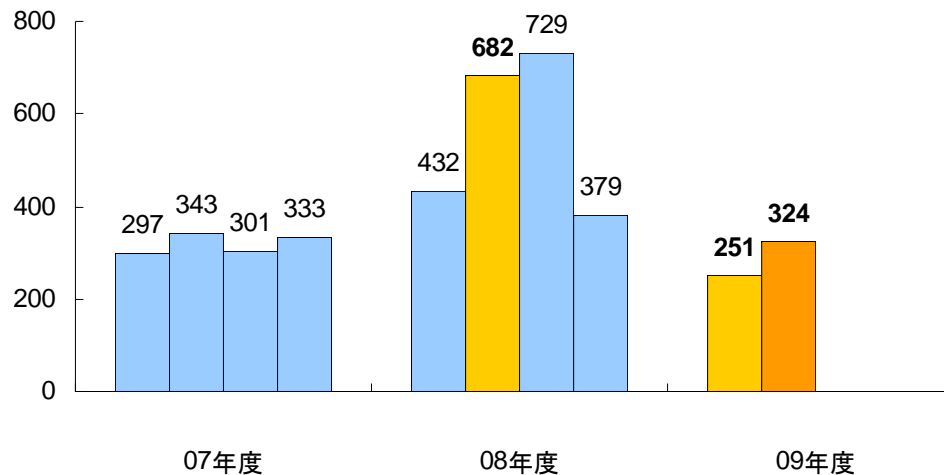


(単位：億円)

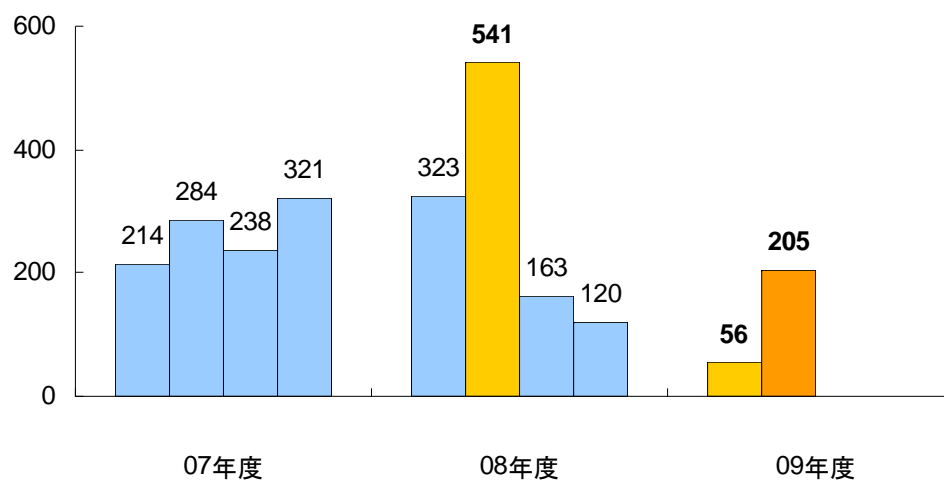
# セグメント情報：金属・エネルギー



## 売上総利益



## 当社株主帰属純利益



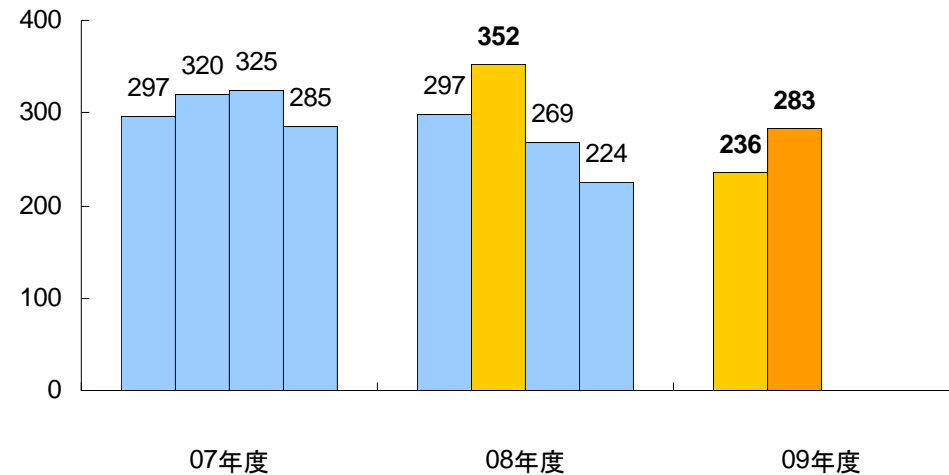
(単位：億円)



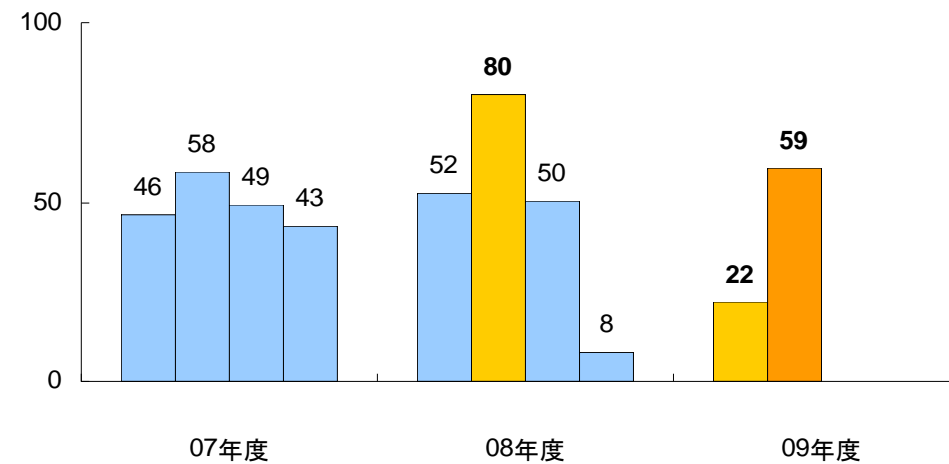
# セグメント情報：生活資材・化学品



## 売上総利益



## 当社株主帰属純利益

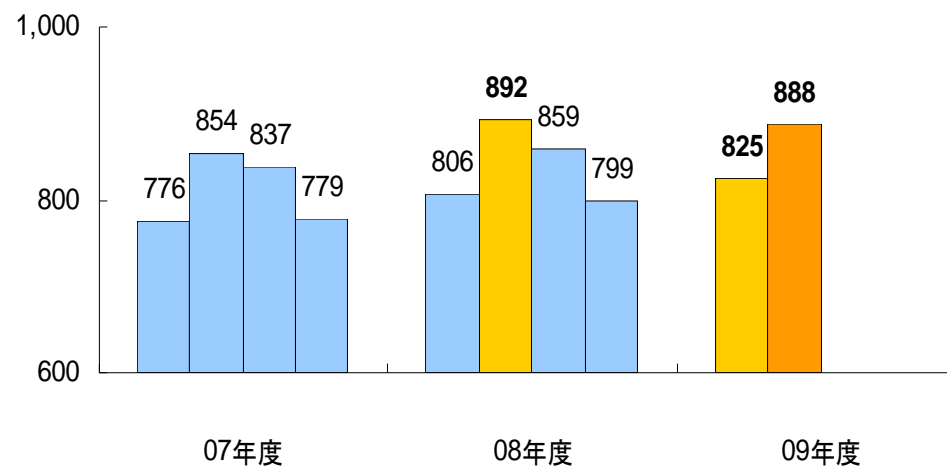


(単位：億円)

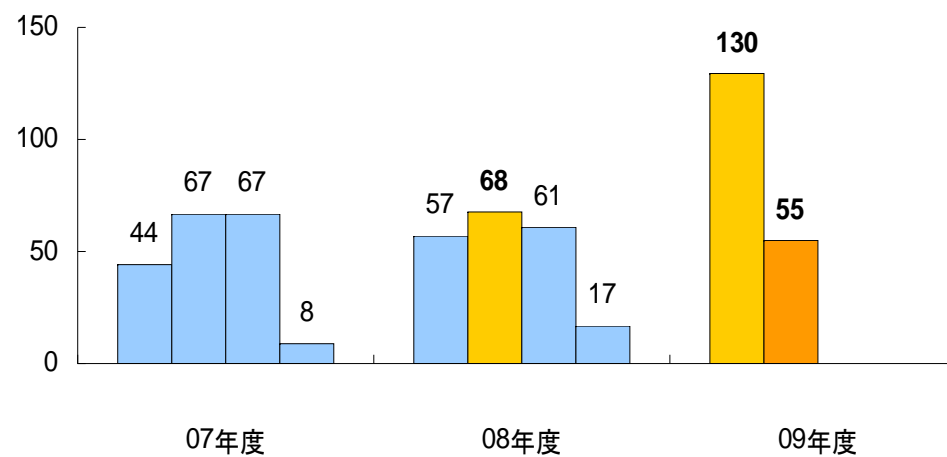
# セグメント情報：食料



## 売上総利益



## 当社株主帰属純利益

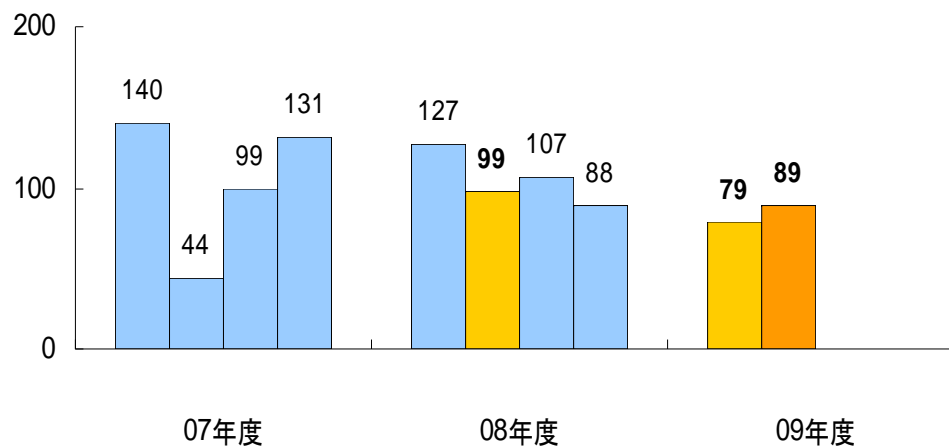


(単位：億円)

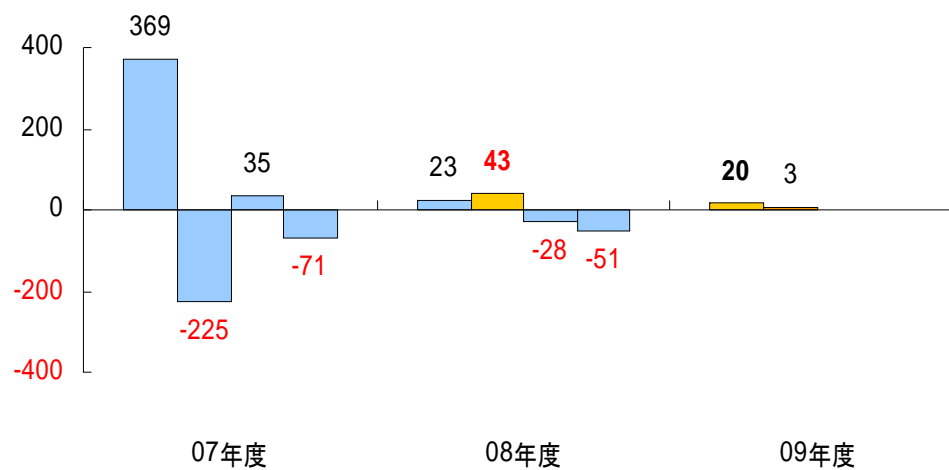
# セグメント情報：金融・不動産・保険・物流



## 売上総利益



## 当社株主帰属純利益



(単位：億円)

## 見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の計画・戦略・見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいています。これらの期待・見積り・予想は、経済情勢の変化・為替レートの変動・競争環境の変化・係争中及び将来の訴訟の結果・調達資金や金融商品の継続的な有用性等多くの潜在的リスク・不確実な要素・仮定の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いいたします。また、当社は新しい情報・将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

**ITOCU**  
**ITOCU**